

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2013-132260(P2013-132260A)

【公開日】平成25年7月8日(2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-036

【出願番号】特願2011-285517(P2011-285517)

【国際特許分類】

A 0 1 K 89/015 (2006.01)

A 0 1 K 89/01 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 89/015 D

A 0 1 K 89/01 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月11日(2013.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

【図1】本発明の第1実施形態に係る魚釣り用リールのハンドルが適用される魚釣り用リールを示した上面図である。

【図2】ハンドルノブを挟持した際の様子を示す説明図である。

【図3】(a)はハンドルノブの平面図、(b)は図3(a)のB1-B1端面図、(c)は図3(a)のC1-C1断面図である。

【図4】本発明の第2実施形態に係る魚釣り用リールのハンドルのハンドルノブを示す図であり、(a)は平面図、(b)は図4(a)のB2-B2端面図、(c)は図4(a)のC2-C2断面図、(d)は貫通孔の傾斜部(口縁)に指が触れている状態を示した断面図である。

【図5】本発明の第3実施形態に係る魚釣り用リールのハンドルのハンドルノブを示す図であり、(a)は平面図、(b)は図5(a)におけるB3-B3断面図である。

【図6】変形例のハンドルノブを示す平面図である。

【図7】本発明の第4実施形態に係る魚釣り用リールのハンドルのハンドルノブを示す図であり、(a)は平面図、(b)は図7(a)におけるA4-A4断面図、(c)は図7(a)におけるB4-B4断面図である。

【図8】変形例のハンドルノブを示す断面図である。

【図9】本発明の第5実施形態に係る魚釣り用リールのハンドルのハンドルノブを示す図であり、(a)は平面図、(b)は図9(a)におけるB5-B5断面図である。